



●はじめに

早稲田イーライフは健康で楽しく長生きできるお手伝いをします

私たちのデイサービスは、「地域社会に貢献したい」という思いのもとスタートし、これまで地域の皆様に支えられながら歩んでまいりました。多くのご利用者様が運動を通じて心身の維持・向上に取り組まれ、それぞれの目標に向かって前向きな変化を重ねてこられました。その姿は、私たち職員にとっても大きな励みとなっております。

また、一昨年4月に開所いたしました相模原の施設も、地域の皆様のご理解とご協力のもと、安定した運営を継続しております。運動特化型デイサービスとしての専門性をさらに高めながら、より質の高いサービス提供を目指し、日々取り組んでおります。

今後も、安心・安全を第一に、皆様に信頼していただける事業所運営に努めてまいります。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

●運営会社

株式会社アドバンスコーポレーション

本社：多摩市和田842-4

設立：平成28年7月21日

代表取締役 青木 亨



●事業理念

- ・地域社会への貢献(地域のインフラを目指します)
- ・働く人が、やりがいを持って楽しく働く場所の創造

●運営方針

早稲田イーライフ多摩貝取は、ご利用いただく皆様が明るく元気で自立した生活を営むことができるよう、日常生活に必要な筋力や基礎体力を維持する為のお手伝いをいたします。

サービス内容

【介護予防特化型デイサービス(早稲田イーライフFC:全国に114施設)】

- ・早稲田大学スポーツ科学部の研究施設で開発された介護予防プログラム
- ・短時間(3時間)で個々の身体状況に合わせた機能訓練中心のプログラム
- ・ノルウェーで開発されたレッドコードで安全にストレッチ&バランス訓練を実施
- ・ロコモ(寝たきり状態)予防トレーニング”イートレ”(下肢トレーニング)の実施
- ・歩行データ測定(AYUMI-EYE:3か月ごとに計測)

【営業日】月曜日～金曜日

【サービス提供時間】

午前: 9時00分～12時10分(3時間10分)

午後: 13時30分～16時40分(3時間10分)

【定員】10名

※要支援・要介護の方が、それぞれ認定が変わっても引き続き利用可能となるよう、両方の許認可を取得し概ね同プログラムを提供しております。(要介護の方には個別機能訓練を実施)

他施設との差別化 取り組み

・AYUMI-EYEの導入

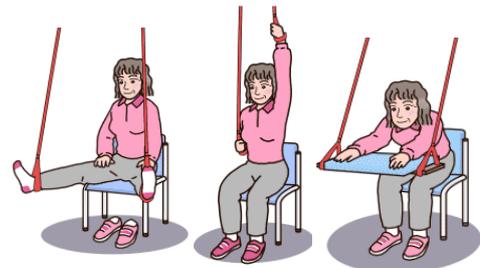
⇒タブレットを使用した歩行測定による歩行状態の見える化の実現

【AYUMI-EYEとは】
センサーを腰につけて歩くことで推進力、バランス、リズムを計測。力のかかりやすい方向がバランスマップとしてわかりやすく表示され、歩き方のクセを把握し、転倒予防や運動目標を立てることができます。



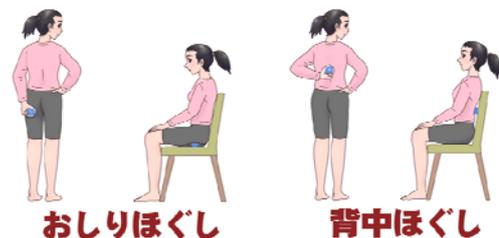
・レッドコードによるストレッチ

⇒マシンによる筋力アップの運動プログラムにプラスし、レッドコードによるストレッチ運動の実施



・イーライフボールによる筋肉ほぐし

⇒準備体操にイーライフボールを取り入れ、筋肉を弛緩



・要介護認定者への個別機能訓練の強化

⇒生活動作改善の為の個別機能訓練実施(※総合事業認定者も希望者は実施)

・少人数定員にこだわり、一人一人との触れ合いを重視

⇒様々なレクリエーションを行い、ご利用者様同士やスタッフとのコミュニケーションも大切に

オープンからの歩み

- 平成 28年12月 総合事業許認可(要支援、事業対象者) 見学開始
平成 29年 1月 総合事業利用開始
平成 29年 2月 地域密着型許認可(要介護) 利用開始
令和 6年 4月 相模原市緑区に2号店(早稲田イーライフさがみ)を開設



にぎやかで
フレッシュな
多摩貝取店



お陰様で間もなく10周年を迎えます



和気あいあいと
和やかな
さがみ店

利用状況

利用者数(3月1日現在)

66名

半年前に比べ3人増加

※寒さが収まり、見学が増えてきました

年代別利用者数

90代	22名
80代	33名
70代	11名
60代	0名
平均	85.3歳

※半年前と0.5歳上がった

介護認定別

要介護5	0名
要介護4	1名
要介護3	3名
要介護2	8名
要介護1	15名
要支援2	16名
要支援1	12名
事業対象者	11名

性別

男性	22名	33.3%
女性	44名	66.7%

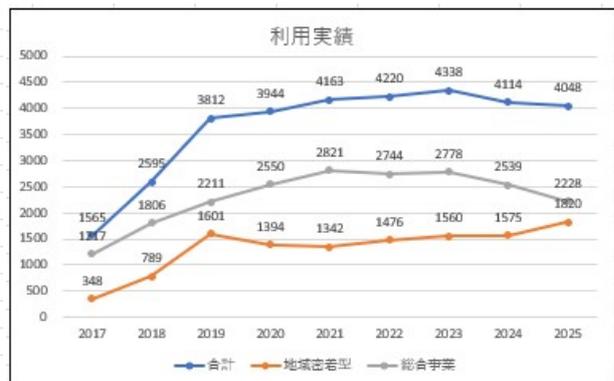
※半年前の男女に割合が増えた

総合事業(支援) 59.1%

地域密着(介護) 40.9%

※半年前に比べ要支援者が増えた

ご利用の推移



※2年前より、利用率が減少傾向にある

※全体的に見ていくと、80%台後半の利用率に落ち着いている

ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット

※年月無しは、発生件数ゼロ

年月	件数	主な内容
開業～令和4年3月	31	5年間の件数
令和5年1月	1	施設内でしりもち
令和5年1月	1	施設内でのつまづき
令和5年4月	1	施設内で転倒
令和5年5月	1	施設内でのつまづき(ふらつき)
令和5年11月	1	施設内で転倒
令和6年1月	1	飲料での誤嚥
令和6年6月	1	施設内でのつまづき
令和6年7月	2	施設内でのつまづき、膝崩れ
令和6年10月	1	運動中の傾眠
令和7年1月	2	施設内でふらつき、送迎中の貧血
令和7年3月	1	施設内でのつまづき
令和7年4月	2	施設内でのつまづき、めまいによるふらつき
令和7年7月	1	施設内でのふらつき
令和7年8月	1	施設入口でのふらつき
令和7年9月	1	施設内でのふらつき
令和8年1月	1	施設内での足のもつれ
令和8年2月	1	駐車場でのふらつき

※駐車場や入口のスロープでのふらつきが目立ちました。認知症の方やご利用開始間もない方は施設の作りに慣れていないため、「少々坂になっていますよ。足元にお気を付けください。」など声掛けをし、今後も細心の注意を払って対応してまいります。

事故報告

年月	件数	主な内容
令和2年8月	1	手指消毒アルコール噴霧が目に入った
令和7年6月	1	お迎え時自宅マンション廊下にて額を強打。裂傷。ご主人が救急車を呼び救急搬送。5針縫合。

ご利用者住所(地域別)

※包括支援センターエリア区分け

北部地域	19名	一ノ宮、関戸、愛宕、貝取1、豊ヶ丘1
西部地域	7名	和田、東寺方
東部地域	7名	諏訪、聖ヶ丘、馬引沢
中部地域	14名	豊ヶ丘、永山、貝取
多摩センター地域	19名	落合、鶴牧、唐木田、中沢

※地域により利用者の傾向は変わらない

職員の変更・資格の取得状況

生活相談員	4名	※介護福祉士3名
介護福祉士	3名	
柔道整復師	1名	※来年度1名が介護福祉士受験予定
実務者研修受講修了	4名	
認知症基礎研修終了	2名	

※現職員は認知症に関する研修受講済み

ご利用者様・ご家族様の声

・以前は散歩にも行きたくなかったが、デイに通って身体を動かす楽しみを知り、自分でも散歩に出るようになった。



・妻が亡くなってから鬱傾向になり食事も摂れなくなったが、イーライフで運動してまた食欲が出た。



・運動で体力がついたので孫たちとディズニーランドに行けた!!



・一人暮らしなのでみなさんと会話するだけで楽しい!



・最初は自分にもできるのかと不安だったが、スタッフさんたちが丁寧に教えてくれるので気分よく運動できる。



・レクリエーションも隔週で行ってくれて「今日は何かな?」と楽しみに通っている。



・レッドコードの運動で高い位置のものが取れるようになった。



・握力がつき、ペットボトルの蓋が開けられるようになって嬉しい!

・運動習慣が身について、昔のように夫婦で散歩に出かけるようになった。近所の人からも若々しいと言われるよ!!



・スポーツジムのような雰囲気なので男性でも通いやすい。マシンも充実していて気に入っている。



【ご家族からも喜びのお声をいただいております!】

・半日家を空けてくれるので買い物や自分の通院に安心して出かけられるようになった。デイサービスに行っている間ほっとする時間を取ることが出来てストレスが軽減された。

今後の課題

- ・ご利用者の増減が激しい1年となった。安定した経営を目指すための施策が必要である。
- ・これ以上のご利用者の増加が見込めない
- ・土曜日、日曜日の施設の有効利用を検討する

E-life

さいごに

介護予防の取り組みは、住み慣れた地域での生活を支える重要な基盤であると考えております。私たちは運動特化型デイサービスとして、身体機能の維持・向上にとどまらず、その方らしい生活の継続を見据えた支援を大切にしてまいりました。

また、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所をはじめとする関係機関との連携を図りながら、情報共有や課題の早期把握に努め、地域の支援体制の一端を担えるよう取り組んでおります。事業所内の支援だけで完結するのではなく、地域全体で支える視点を持ち続けることを大切にしております。

本年12月には開設10周年という節目を迎えます。これまでの歩みに感謝するとともに、これからも地域に根ざした信頼される事業所であり続けられるよう、早稲田イーライフ多摩貝取、早稲田イーライフさがみの両施設が連携しながら、より一層質の高いサービス提供に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。